

市立川西病院改革

4月1日から 指定管理者制度で 管理運営をスタート

医療法人の経営手法を活用して新たに動き出す市立川西病院
これまでと変わらず診療を行います
問い合わせ 市立川西病院 ☎ (794) 2321

川西病院での診療を
これまで通り継続

4月から指定管理者（医協和会）による管理運営が始まります。市が開設する病院であることに、変わりありません。

外来での診療科目や受付時間は、変更なく続けていきます。医療費の患者負担は、法律で定められているため変わりません。

指定管理者制度の導入で、医療法人の経営手法と公立病院の公共性を併せ持つ病院として、「将来にわたり、安心で安全な医療」を提供します。またキセラ川西では、災害時にも継続して診療機能を發揮できる新病院の建設に向けて取り組みます。



連休中の2日間に 外来を受け付け

10連休となるゴールデンウィーク中も、4月30日（休）と5月2日（休）の2日間は、平日と同じ午前9時から外来患者の診療を行います。

いづれも園での

預かり保育を開始

牧の台みどりこども園で

6月3日から「地域こども預かり保育」を始めます
対象は1歳以上の未就学児で4時間1600円から
利用には事前登録が必要です
問い合わせ 牧の台みどりこども園 ☎ (794) 3496

6月3日から未就学児の 一時預かりを開始

6月3日（月）から牧の台みどりこども園で、地域こども預かり保育が始まります。保護者が用事や体調不良などで保育が一次的にできないときに、子どもを預かります。

対象は1歳以上の未就学児。利用できるのは月々金曜日（祝日除く）の午前9時～午後5時で、予約が必要。預かりには定員があり、申し込みは電話か窓口で受け付けます（先着順）。料金は、4時間まで1600円、4時間を超えると3200円です。

4月から同園で 事前登録を受け付け

預かり保育の利用には、事前登録が必要です。4月1日（月）から、事前登録を受け付け。希望者は、牧の台みどりこども園に電話で予約の上、子どもと一緒に来園してください。簡単な面接や利用方法などの説明を行います。登録完了後、6月3日（月）以降の予約を受け付けます。申し込みは、利用日の3カ月前の初日から前日まで。



参画と協働のまちづくり推進会議委員を募集 若者の声を届けませんか

市民活動や地域・人のつながり方などを考える「参画と協働のまちづくり推進会議」の委員を13人募集（任期1年）。6月ごろから10回程度、会議を行います。対象は、18歳以上の市内在住・在勤・在学者で、40歳未満の若者枠を5枠設けます。

希望者は、市役所4階の参画協働課や各行政センターに備え付けの応募用紙に必要事項を書き、4月22日（月）（必着）までに郵送またはファクス、メールで〒666-8501・参画協働課へ（市ホームページ「下記2次元コードからアクセス可」から送信可）。応募多数の場合は選考の上、決定します。

問い合わせ
参画協働課
☎ (740) 1600・☎ (740) 1322
✉ kawa0197@city.kawanishi.lg.jp



保育所や認定こども園の園庭開放 親子が安心して遊べる場所

市内の保育所（園）と認定こども園で、未就学児を対象に園庭開放を行っています。開放日時など詳しくは、市ホームページ（下記2次元コードからアクセス可）または各園に確認してください。通園していない人も利用可。利用時は保護者同伴で来園してください。雨天中止。駐車場はありません。

施設	電話番号	施設	電話番号
多田保育所 (アップルただ)	(793) 7724	牧の台みどりこども園 (アップルまきのだい)	(794) 7065
川西北保育所	(759) 9219	あおい川西こども園	(767) 1510
川西中央保育所 (アップルちゅうおう)	(759) 2261	美山こども園	(794) 5355
小戸保育所	(757) 5876	めぐみこども園	(799) 0317
川西南保育所 (アップルみなみ)	(759) 7119	川西けやき坂こども園	(799) 6117
山子屋保育園	(795) 0373	向陽台あすのこども園	(744) 0425
畦野こどもの里保育園	(794) 5359	かわにしひよこども園	(759) 0124
多田こどもの森保育園	(744) 0758	エンゼルキッズ清和台	(799) 7000
バステル保育園(タプリエ)	(757) 2440		
ちきゅうっこ保育園	(740) 5725	問い合わせ 幼児教育保育課 ☎ (740) 1175	



多田グリーンハイツ・清和台地区の 小学校統合計画を白紙に

問い合わせ 学務課 ☎ (740) 1256

1 これまでの進め方では、**保護者や地域住民の声を十分に把握できていなかった**

2 学校配置は教育の視点のみではなく、**まちづくりの視点**と合わせて検討する必要がある

両地区の小学校統合計画は**白紙**

多田グリーンハイツ地区と清和台地区では、児童数の減少傾向が続く想定のもと、緑台小学校と陽明小学校、清和台小学校と清和台南小学校を統合することが望ましいと考え、検討を進めてきました。これまでの経過の中で、それぞれの立場からさまざまな意見があることを改めて認識し、市教育委員会としては、保護者や地域住民の声を十分に把握できていなかったこと、また、まちづくりの視点と合わせて検討する必要があることの理由により、両地区の小学校統合計画を白紙としました。

これまでで小学校統合に関わり、ご心配ご迷惑をおかけしたことをおわびいたします。